

市章	所在地	〒961-8602 白河市八幡小路7番地1		
	所在地標高	海拔 360.50m		
	T E L	0248-22-1111	F A X	0248-27-2577
	U R L	https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/		

キャッチフレーズ
星がある。城がある。君がいる。白河
～ Well-being City Shirakawa ～

市花 市木 市鳥	ウメ	PRキャラクター			
	アカマツ				
	ウグイス				

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)
市長(5期)	鈴木 木 かつ 和 夫	令和9年7月28日	1,030.0千円
副市長	井 上 賢 二	令和10年3月31日	815.0千円
議長	石 名 国 光	令和9年7月8日	463.0千円
副議長	佐 川 京 子	令和9年7月8日	406.0千円

市の概要

(自然条件)
福島県中通りの最南端に位置し、栃木県に隣接している。阿武隈川に沿って東西に市街地が広がり、高燥、冷涼、清澄でさわやかな高原性の気候である。

(産業・経済)
県内有数の製造品出荷額を誇る工業を基幹的産業として、農業、商業など多様な産業が展開されている。東北自動車道や東北新幹線等の高速交通網と首都圏に隣接する優位性を生かし、県南地方の中核都市としての基盤整備に努めている。

(観光・文化)
いにしへの都人の憧れの地として数多くの歌枕に登場し、奥州三古関のひとつに数えられる「白河関」、奥州関門の名城「白河小峰城」、名君松平定信が「土民共楽」という理念を掲げて築造した「南湖公園」の他、権太倉山の麓にある巨石で源義経が名づけたといわれる「聖ヶ岩」、国内唯一の氷河期の残存植物ともいわれる「ビャッコイ」の自生地などを有する。また、天然温泉施設である「きつねうち温泉」やキャンプ場である「聖ヶ岩ふるさとの森」など、各種施設が整備されている。

(伝統行事・伝統芸能)
「白河だるま市(2月11日)」、「白河提灯まつり(隔年9月敬老の日直前の金曜日～日曜日)」、「天道念仏さんじもき踊(7月1日曜日)」、「安珍歌念仏踊(3月27日)」、「中ノ沢権現梵天祭(隔年旧暦8月8日前後の土曜日～日曜日)」、「河東田牛頭天王祭(6月15日前後の土曜日)」、「琴平神社奉納相撲(10月2日前後の日曜日)」、「鹿嶋神社神楽」

(特産品)
白河ラーメン、白河石、白河だるま、米、トマト、きゅうり、ブロッコリー、りんご、日本なし、ユリ切花、納豆、白河そば、和菓子、日本酒(千駒、白陽、登龍、谷乃越、有の川、陣屋)

R7年度重点事業

(震災以外)	○しらかわ子育てウェルカムブック事業	1百万円
〃	○放課後児童クラブ満足度向上事業	116 〃
〃	○ヨル活交流事業	2 〃
〃	○小規模事業者ステップアップ支援事業	5 〃
〃	○ビジネスリレーサポート事業	7 〃
〃	○農業の未来をつくるスマート農業推進事業	19 〃
〃	○大河ドラマ「べらぼう」を活用した観光PR事業	18 〃
〃	○おひとりさま支援事業	4 〃
〃	○公共交通移動需要調査事業	14 〃
〃	○複合施設整備事業	3,273 〃
〃	○清水門復元整備事業	197 〃
〃	○白河グリーンフィールド整備事業	23 〃

主な地域開発区域指定状況

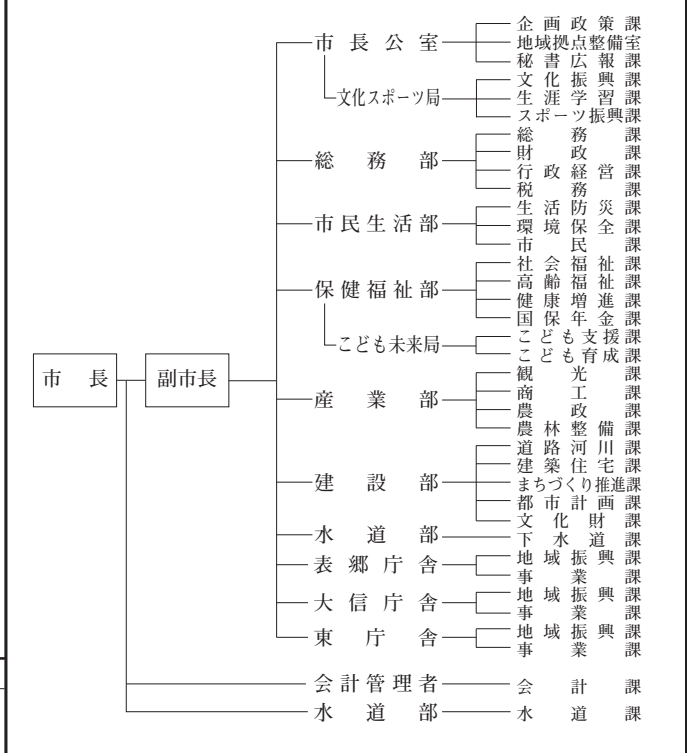
辺地	過疎	準過疎	山村	豪雪
特豪	農産	特農	原発	

コード番号	072052		類型	Ⅱ - 2		
区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
H17年調	65,707人	10,311人	13,723人	22,320世帯	1,455世帯	305.32km ²
H22年調	64,704人	9,501人	14,682人	22,726世帯	1,727世帯	人口密度
H27年調	61,913人	8,071人	16,151人	23,004世帯	2,187世帯	190人/km ²
R2年調	59,491人	6,995人	17,546人	23,763世帯	2,565世帯	
R6.1.1基住	57,869人	6,366人	18,144人	25,389世帯	高齢化率	31.35% 県下51位
産業別就業人口(R2年国調)	第1次産業 (6.3%) 1,806人	第2次産業 (38.2%) 10,907人	第3次産業 (55.5%) 15,857人	一人当たり 分 配 所 得 (R3年)	3,217千円 県下11位	
有権者数R7.3.1	男	24,167人	女	24,465人	計	48,632人
議員	(旧)法定上限	30人	条例定数	24人	衆議院議員選挙区	
	現員	24人	任期	令和9年7月8日	第3区	

総合計画等の策定状況

名称	白河市行動計画－アジェンダ2027－	
策定年月日	令和5年4月28日	計画期間
		令和5年度から令和9年度まで

組織機構



一部事務組合等への加入状況

福島県市民交通災害共済組合
白河地方広域市町村圏整備組合

職員数	一般行政職員 404人	技能労務職員 1人	教育職員 42人	その他 98人	条例定数
	[企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、1年を超えて勤務する定数外職員を含む]				598人
	R3	R4	R5	R6	
職員総数	540人	544人	539人	545人	

財政(普通会計)										
(1) 決算 (千円)										
区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高	
R3決算	36,728,207	34,929,688	1,798,519	1,723,608	1,314,739	9,528,764	3,743,233	37,476,260	1,843,380	
R4決算	34,631,932	32,961,249	1,670,683	1,465,093	253,690	9,427,098	3,600,801	36,148,462	2,159,487	
R5決算	35,575,688	33,720,222	1,855,466	1,641,462	922,224	9,757,621	3,718,039	34,737,036	1,690,768	

(2) 指標 ()は類似団体 (千円・%)

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率				資金不足比率	
				実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	比率	備考(事業名等)
R3決算	(19,181,502) 17,960,038	(0.72) 0.63	(87.3) 85.4	-	-	(6.6) 9.5	47.6		
R4決算	(18,699,654) 17,671,615	(0.71) 0.62	(91.0) 90.4	-	-	(6.6) 8.6	44.5		
R5決算	(19,145,520) 17,826,455	(0.70) 0.61	(92.3) 88.0	-	-	(6.7) 8.3	43.5		

(3) 主な歳入 ()は構成比 (千円・%)

区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計
R3決算	(25.0) 9,164,860	(19.8) 7,266,569	(20.5) 7,522,606	(8.1) 2,976,118	(9.2) 3,370,600	(17.4) 6,427,454	(100.0) 36,728,207
R4決算	(26.9) 9,314,576	(21.3) 7,385,376	(17.5) 6,070,225	(6.6) 2,295,799	(7.0) 2,409,400	(20.7) 7,156,556	(100.0) 34,631,932
R5決算	(27.4) 9,732,354	(21.3) 7,560,895	(13.0) 4,618,637	(9.5) 3,392,062	(6.4) 2,272,700	(22.5) 7,999,040	(100.0) 35,575,688

(4) 主な歳出 ()は構成比 (千円・%)

区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計
R3決算	(13.3) 4,633,499	(14.5) 5,055,020	(12.6) 4,390,333	(18.5) 6,477,793	(10.3) 3,613,188	(13.9) 4,844,174	(16.9) 5,915,681	(100.0) 34,929,688
R4決算	(14.7) 4,855,812	(13.9) 4,589,011	(14.0) 4,618,326	(17.0) 5,593,410	(11.8) 3,887,101	(12.8) 4,228,333	(15.7) 5,189,256	(100.0) 32,961,249
R5決算	(14.5) 4,884,383	(11.9) 4,026,196	(13.9) 4,687,398	(17.6) 5,929,630	(11.3) 3,819,563	(15.2) 5,117,156	(15.6) 5,255,896	(100.0) 33,720,222

(5) 税の徴収率(国民健康保険税除く) (%)

R5決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち		R4決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち	
	99.5	7.5	97.9	市(町村)民税	固定資産税		99.4	8.6	98.0	市(町村)民税	固定資産税

公共施設整備状況

道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園(認定こども園)	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学	老人ホーム
1,008,305m	1,557,438m ²	984戸	(9園 4園) (588人 368人)	13校	7校	一校	4校	一校	一所
公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率	
10館	24,728m ²	55床	621床	58.8%	69.8%	100.0%	96.5%	83.5%	

公営企業 (R5決算)	()は法適用企業にあっては経常損益、法非適用企業は実質収支(千円)	主な郷土出身者
(法適用)	(法非適用)	関根正二(洋画家)、鈴木文助(生物学者)、岩淵悦太郎(国語学者)、大谷五花村(川柳作家)、今井珠泉(日本画家)、伏見俊昭(自転車競技選手)、中山義秀(小説家)、藤田敦史(陸上競技選手(マラソン))、班目秀雄(自転車競技選手)、班目真紀夫(自転車競技選手)、遠藤純(サッカー選手)
上水道事業(136,132)	市場事業(0)	
工業用水(0)	介護サービス(0)	
公共下水道(144,472)		
農集排(72,426)		
特地排水(8,447)		

今後の主要課題

(震災以外) ◎人口減少対策 ○魅力ある雇用をつくる 起業・創業支援、企業誘致、商工業振興、農業振興 ○若い世代の活躍を支える 結婚支援、出産・子育て環境整備、教育環境充実 ○人と地域のつながりをつくる 観光振興、移住・定住促進、シティプロモーション、市民協働推進 ◎広域的な市町村連携 ◎脱炭素社会への転換 ◎デジタル化への対応	(特色ある施策) ○圏域で連携した産業振興 ○歴史と文化を活かしたまちづくり ○伴走型の結婚支援 ○切れ目のない子育て支援 ○首都圏との近接性を活かした移住促進 (姉妹都市) コンピューニュー市(フランス)、アノカ市(アメリカ) (友好都市) 行田市(埼玉県)、戸田市(埼玉県)、桑名市(三重県)	浅井ショウワ(朝日ラバー、アズビル金門エナジープロダクツ(株)、EAファーマ(株)、大塚鉄工(株)、岡本工業(株)、藤加藤螺子製作所、藤川金ダイカスト工業、木村可鍛(株)、日光陽社、藤サイゼリヤ、藤サクラテック、白河コスモス電機(株)、住友ゴム工業(株)、藤大紀中央ミニウム工業所、大盛工業白河工場、中央精機(株)、藤ディーアンドエムホールディングス、天馬(株)、東北ボール(株)、東洋アルミ鋼管(株)、ニッコシ(株)、日本果実加工(株)、日本カーボン(株)、日本金属(株)、日本パッキング工業(株)、パナソニックオートモーティブシステムズ(株)白河工場、大山春雪さぶる(株)サガミハム白河工場、味覚糖(株)、藤三谷精密、三菱ガス化学(株)、藤栄伸、藤石森製作所
---	---	---